

新任教授に質問！



立教大学院教授
安部 哲也

主な経歴
パナソニック(当時 松下電器)日本・香港で勤務。豪 BOND 大学大学院 経営学修士課程修了。同修了研究で構築した事業計画をもとに、企業・大学向けリーダーシップ教育事業を行うEQパートナーズ株式会社を設立。同社代表取締役社長として経営と教育に関わる。著書「ワールドクラス・リーダーシップ」(同友館)、「World-Class Leadership」(World Scientific)、「カルロス・ゴーン流リーダーシップ・コーチングのスキル」(あさ出版)など。多国籍企業学会など所属。趣味はアイスホッケー。

■2016年度担当授業(前期課程)

リーダーシップ論1/2、日本のビジネスとキャリアデザイン、特講1A(ネゴシエーション)、特講1B(アントレプレナーシップ)、修了研究1/2(ビジネスデザイン)

■専門・担当研究分野

リーダーシップ論、起業家理論、グローバル交渉理論など

■RBS学生に期待すること

まずは「自分らしいリーダーシップ」の実践。自分は他人にはなれない。自分自身のミッション、ビジョン、価値観を見出し、日々の着実な努力で実現していくこと。そして、他者の気持ちを理解しリードするチーム・リーダーシップ、グローバル・リーダーシップなどを身につけ、実践していきましょう。構築したビジネスプランを実現していくためには、リーダーシップの実践が不可欠となります。

■人生を支えた究極の1冊

渋沢栄一 著『論語と算盤(そろばん)』：1916年



立教大学院教授
品川 啓介

主な経歴
博士(工学)、博士(技術経営)。製造業でハイテク分野の研究開発リーダーなどを務めた後、商社を経て現職。クライストチャーチ(ニュージーランド)の公立小学校で、1年間のボランティア教員の経験あり。

■2016年度担当授業(前期課程)

修了研究3/4(ビジネスリサーチ)、経営学特別研究9、テクノロジー・マネジメント3/4、イノベーション・マネジメント

■専門・担当研究分野

テクノロジー・マネジメント、およびイノベーション・マネジメント

■RBS学生に期待すること

社会科学の研究では、現実と真摯に向き合うことで理論の構築が可能になります。他方、効率を追い求めるあまり、理論優先で現実を見てしまうとその背後に潜む本質を見逃してしまうことにもなりかねません。論文・レポート作成などがはかどらず悩むことも少なくからずあると思いますが、粘り強く議論を重ね知識の再構築を繰り返すことで理論に昇華させる過程を大切にしてください。

■人生を支えた究極の1冊

村上春樹 著『遠い太鼓』：1990年 講談社



立教大学院教授
中川 有紀子

主な経歴
慶応義塾大学大学院商学研究科後期博士課程単位取得退学。2016年博士論文提出予定。日米企業で25年以上日本および米国にて人事の現場で働き、現在は人事部長を務める。フルタイムで働きながら社会人大学院に通ってMBA取得、後期博士課程に進学し、9年目にしてようやく博士論文提出できる予定。慶応義塾大産業研究所共同研究員。早稲田大学現代政治経済研究所特別研究員。早稲田大学トランスナショナル研究所招聘研究員。明治学院大学国際経営学部非常勤講師。法政大学キャリアデザイン学部非常勤講師。韓国延世大学ビジネススクール招聘外国人講師を歴任。日本労務学会、日本国際ビジネス学会、経営哲学学会、日本キャリアデザイン学会に所属。

■2016年度担当授業(前期課程)

修了研究3/4(ビジネスリサーチ)、ヒューマンリソースマネジメント3/4

■専門・担当研究分野

人的資源管理論、グローバル人事、グローバル人材育成、組織論、ダイバーシティ経営、キャリアデザイン論

■RBS学生に期待すること

私も皆さんと同じように10年前、社会人としてMBAを取得する目的で、社会人大学院に入学しました。10年が経過し、こうして皆さんの前で教鞭をとり修士論文指導をしています。当時小学校高学年だった二人の息子が大学生です。何事も始めるのに遅すぎるとはならないと考えています。皆さんの「RBSに入学を決意し、ビジネスを理論的に学んで、仕事で生かそう」というそのモチベーションを常に忘れず、目標に向かって、計画的に前に進んでいきましょう。 Yes, you can.

■人生を支えた究極の1冊

遠藤周作 著『沈黙』：1966年



立教大学院教授
井瀨 正彦

主な経歴
横浜国立大学経済学部卒業、シドニー大学MBA。野村総合研究所アセットマネジメント研究室長、野村ホールディングス経営企画部次長、野村資本市場研究所研究部長などを経て同研究所執行役員(現職)。立教大学経済学研究科兼任講師、関西学院大学商学部客員教授、芝浦工業大学MOT非常勤講師を歴任。日本証券業協会「今後の社会構造の変化を見据えた証券税制等のあり方に関する懇談会」座長、金融審議会「我が国金融業の中長期的な在り方に関するワーキング・グループ」「投資信託・投資法人法制の見直しに関するワーキング・グループ」各専門委員なども歴任。

■2016年度担当授業(前期課程)

証券経済論1/2、修了研究3/4(ビジネスリサーチ)

■専門・担当研究分野

金融サービス会社の経営戦略、資産運用のビジネス・制度、市場型金融モデルの展望と課題

■RBS学生に期待すること

私自身がMBAを取得した経験(と反省、笑)から言えることは：(1)知識は授業だけでなく、背伸びをした内容が盛り込まれている専門の書籍・文献を積極的に沢山読んで身に付けること。学部と大学院の大きな違いはこの点にある。(2)自分が関心を持つ分野を深掘りするだけでなく、意識して未知の分野にも踏み込むこと。新しい発見や関心を増やすことは、それだけビジネス戦力が向上したことと同じ。(3)縦と横で信頼できる友人を作ることこそ一番大事かも知れません。縦は先輩と先生。横は同期。ビジネススクールで培われた信頼関係(単なるネットワークでなく)は、在学中より修了後にこそずっと公私にわたり頼りになるものです。

■人生を支えた究極の1冊

司馬遼太郎 著『花神』：1972年